

かながわ人生100歳時代ネットワーク
Withコロナ時代における 「この指とまれプロジェクト」

「明るい豊かな社会の種をまくフォーラム」の実施

アイデアを形にする、みんなをまきこむ。
～やりたいことを実現させる力を学ぶフォーラムの開催に向けて～

一般社団法人川崎青年会議所

①団体概要

川崎青年会議所とは？

「奉仕」「修練」「友情」を活動の基本として、「明るい豊かな社会の実現」を目指し、川崎のまちづくりに関わっている団体です。

青年会議所は全国に600近くあり、日本で21番目の青年会議所として1951年に創立して以来、多摩川美化活動や選挙立候補者公開討論会などの街づくり事業や、わんぱく相撲、ダンス大会、ミニバスケット大会など青少年向け事業の開催、各界著名人による講演会の開催などを行ってまいりました。本年創立70周年を迎えました。

②事業の概要

創立70周年記念事業「「明るい豊かな社会の種をまくフォーラム」を開催します

テーマは

「アイデアを形にする、みんなをまきこむ。～やりたいことを実現させる力～」

内容は

多くの方が「こんなことをやってみたい」「地域や街と関わりたい」と考えています。しかしやりたいことを実現させるには、課題、目的、ねらいを考え、関わるべき対象と交渉する。加えて一緒に動く仲間を集め、巻き込んでいく必要があります。SDGsが浸透していくにつれ、課題に対しパートナーシップを組んで取り組むことも増えました。

そうした中で自分のやりたいことをアイデアとして形にし、実現させるための手法を、これまで様々な取り組みをされてきた講師の方の事例や手法を聞き、具体的な施策や在り方について学ぶことで、参加者がより意欲的に地域や課題に取り組むきっかけを提供します。

②事業の概要

講演①天野春香氏 川崎フロンターレ タウンコミュニケーション部部長



川崎フロンターレのプロモーションをいくつも手掛ける。代表的なものは「川崎フロンターレ算数ドリル」「かわさき応援バナナ」「難局物語（南極昭和基地からの中継）」「宇宙交信イベント（ISSからの中継）」など。

さまざまなアイデアを通じて「ホームタウンで大きな貢献をしているクラブ」として川崎フロンターレがJリーグの調査で10年連続1位を獲得するなど、フロンターレの認知度向上と、チームそのものが川崎の魅力向上につながる立役者として尽力。2017年から4年間は東京オリンピック・パラリンピックの競技大会組織委員会に出向し、オリンピックのプロモーションも手掛けた。

→これまでの経験をもとに、突飛なアイデアをどのように形にしていくのか、どこに交渉し、ゴールにつなげていくかを講演していただく。

②事業の概要

講演②常盤良彦氏

株式会社Oaraiクリエイティブマネジメント代表取締役



大洗シーサイドステーション（旧・大洗リゾートアウトレット）内で「大洗まいわい市場」の経営や街の活性化事業を行う株式会社Oaraiクリエイティブマネジメント代表取締役として、地域の事業に携わる。

2012年にTV放映された劇中に大洗が登場するアニメ「ガールズアンドパンツァー（以下、ガルパン）」の制作にあたって、作品に登場する場所などに許可取得、交渉などをし、それを通じて町内でもガルパンに関連する取り組みを手掛けるとともに、町内商店街や行政と連携したイベントの運営に携わる。

→これまでの経験をもとに、アイデアをどうやって多くの人に説明し、巻き込んでいくか、仲間を増やしていくかについて講演していただく。

②事業の概要

パネルトーク

天野氏、常盤氏、川崎青年会議所理事長

川崎青年会議所の事例や課題（ただし、青年会議所特有のものではなく、多くの団体が抱えている共通のもの）を発表し、それをもとに、講師からの話を掘り下げていく。

Ex. メンバーをどうやって増やすか、仲間内の温度差、他団体と連携するときのスピード感やギャップなど

そのほか、会場参加者からの質問など

②事業の概要

スケジュール

開催日：10月17日（日）13:00～15:45

開催場所：川崎市内

コロナ対策として自治体のガイドラインに沿った収容人数、検温消毒の実施する。加えてyoutube等動画での同時配信を行う。（申し込みいただいた方に後日YouTubeの配信ページURLを伝え、その日に同時中継）

経費は会場代、告知チラシ作成費、動画撮影および配信に関する費用（トータルでおよそ50万）

③事業に期待する効果

この事業を実施することで、withコロナの状況を含め、制約や課題がある中でもより効果的にアイデアを実現させ、多くの人を巻き込むための手法を学び、参加者がより意欲的に地域の課題に取り組み、地域がより結成化し、さまざまな課題の解決のきっかけに繋がることを期待します。

④連携を期待するリソース

- 会場（川崎市内。ただし公共施設は緊急事態宣言やまん延防止措置の状況によって使用できない可能性があり、今回はそれ以外の場所を検討）及び費用面（青年会議所の予算が限られているため）
- および事業の告知や情報発信
- 講演のほかの共催事業（コンサートなど）

⑤事業のスケジュール

- 6月 フォーラム進行内容の詰め、講師との打ち合わせ
- 7月 青年会議所内においての実施承認とりつけ
- 8月 イベント告知開始
- 9月 可能であればプレイベント(どんな課題があるかなどを参加予定者にあげてもらおう)
- 10月 フォーラム実施

⑥最後に一言

私(企画者)は青年会議所に7年ほど在籍しておりますが、これまで青年会議所は単独で事業を行うことがほとんどでした。しかし、メンバーも減少傾向にある中で、青年会議所が抱える「明るい豊かな社会の実現」は単独では限界があると感じております。

なにより、発信力がと動員力が弱く、「いい事業をやっているけど、人が集まらない」ということがよく言われております。

一方で、2019年に神奈川県、川崎市との共催でSDGsに関するフォーラムを行った時に、それぞれのカや得意なところを持ち寄ることでより効果的な事業ができるという手ごたえを感じました。

これからは「共につくる」ことでよりよい事業が行えるのではないかと考えております。この事業だけでなく、ぜひ一緒にさまざまなアイデアを持ち寄って、課題を解決したり、事業を実施できればとおもいます。